

# 令和元年度事業報告

## 1 概要

わが国の65歳以上の人口は、3,588万人（令和元年9月15日現在推計）と、総人口に占める割合は28.4%となり、昨年（28.1%）と比較すると、0.3ポイント上昇し、過去最高となりました。

少子高齢化が急速に進展する中、労働人口の減少により地域経済の重要な担い手として、高齢者に対する社会の期待がますます高まっています。しかしながら、当センターでは、その期待に応えるだけの会員数が確保できない状況が続いています。

令和元年度は「**第2次会員100万人達成計画**」に基づき、「会員拡大」を重要課題と捉え、目標会員数達成に繋がる取り組みを積極的に展開してまいりました。また、「**令和元年度事業計画**」に基づき、様々な手法で市民にアプローチし、センターをもっと知ってもらおう工夫を凝らしながら自主的、効果的なセンター運営を行ってまいりました。

その結果、会員数につきましては、目標会員数の1,350人に対して1,316人となり、目標会員数には届かなかったものの、前年度に比べ0.7%の増加となりました。

また、事業実績では、請負・委任事業は個人・家庭からの受注は増加しましたが、一般企業からの受注が減少したことから、前年度に比べ約504千円の減額となりました。派遣事業は堅調に伸びたことから約1,673千円の増額となりました。

よって、請負・委任事業と派遣事業の合算契約金額は571,985,028円となり、前年度に比べ0.2%の増加となりました。

次に、安全就業につきましては、傷害事故は前年度より1件増加し7件になり、賠償事故につきましても3件増加し12件発生しています。

安全就業はシルバー人材センター事業の基本であり、全会員が「**安全はすべてに優先する**」を強く自覚し、今まで以上に、会員と安全衛生委員会、安全就業推進員が一体となって、傷害事故及び賠償事故撲滅を目指し、より一層積極的に取り組む必要があります。

## 2 事務事業の実施状況

### (1) 会員の動向

令和元年度末の会員数は、前年度に比べ9人増の1,316人になりました。

この内訳は、201人の方が新たに入会されましたが、退会された方が192人となっています。そのなかで会員の紹介により46人の入会者がありました。

会員の増強対策として、宇部日報紙面での会員募集広告の掲載、エフエムきららのCM放送及び宇部郵便局ロビーでのCM放送など広報メディアを利用したPR活動を実施しました。また、女性会員獲得のために女性委員会による様々な講座を開催しました。なお、入会促進だけでなく退会抑制対策も重要なことから市民参加型の親睦旅行も実施しました。一人でも多くの方が入会され、就業の場を通じて地域社会への貢献と、自らの健康づくりや生きがいの充実を求めています。

### (2) 事業実績

令和元年度の請負・委託事業と派遣事業を合わせた受注件数は5,405件、契約金額は前年度に比べ0.2%増の571,985,028円となりました。また、就業実人員は1,058人、就業延べ人員は106,919人となり、就業率につきましては80.4%となりました。

契約金額につきましては、公共事業や民間企業からの受注が人手不足から堅調な状況でしたが、1月から3月にかけては新型コロナウイルス感染予防の影響で受注が落ち込みました。

なお、会員の紹介により14件の新規就業獲得がありました。

### (3) 普及啓発活動

地域社会に広くご理解とご支援を得るため、会員による就業先での就業開拓や宇部まつりなどのイベント会場や商業施設でのチラシ配布など普及啓発に努めました。宇部まつりには22人の会員がゴミ分別のボランティア活動に参加しました。また、地域班による清掃作業等のボランティア活動にも120人の会員が参加し、普及啓発活動に努めました。

今後も更なる会員の増強と就業機会の拡大を図るため、会員の口コミによる入会勧誘や就業先での業務紹介など、会員、役員、職員が積極的な普及啓発活動を推進する必要があります。

#### **(4) 安全就業の確保**

傷害事故の発生件数は昨年度より 1 件増加し、7 件発生しています。発生状況は就業中が 6 件となっています。

市内でも高齢者の交通事故が多発していることから、就業途上の交通事故防止を図るため「会員のつどい」において宇部警察署による交通安全講習を開催し、交通安全意識の高揚に取り組みました。

また、賠償事故は昨年度より 3 件増加し、12 件発生しています。

毎月、安全衛生委員会による就業先への安全パトロールを実施しているところですが、会員一人ひとりが細心の注意と自覚をもって、作業の安全第一を心がける必要があります。

#### **(5) 会員組織活動の状況**

センター事業の運営に多くの会員の意見や要望を反映させるため、自主的運営のもとに地域班が組織されており、各地域において運営全般にわたる意見交換や班員相互の交流を図る会議が、会員参加のもと全 12 地域で開催されました。

また、職群班は技術向上と班員相互の親睦を図るため、会議や講習会が開催されています。

なお、会員の資質向上を目的に、講師を招いた「接遇講習会」も開催しました。

#### **(6) 会員の福利厚生**

「会員のつどい」では、宇部税務署から「軽減税率制度について」と題した講演や、宇部警察署から「最近の交通情勢について」と題して高齢者の交通安全についての講話、演芸大会、お楽しみ抽選会を行いました。

演芸大会では民謡同好会の皆さんの演技や会員によるカラオケの熱唱など、会員相互の親睦が図られました。

また、会員相互の親睦を図るために日帰りの市民参加型の親睦旅行を実施しました。